

令和4年度第1回阿南市在宅医療・介護連携促進ワーキンググループ会議報告書

令和4年5月24日(火)

【場 所】阿南医療センター 2階講義室 時 間：14:00～15:20

【参加者】 病院関係 寺嶋 吉保 (阿南医療センター)
館 美加 (阿南医療センター)
森 数江 (阿南医療センター)
高橋 英子 (阿南医療センター)
田上 真澄 (阿南医療センター)
田神 由香 (阿南医療センター)
羽坂 美保 (阿南医療センター)
米沢 洋介 (玉眞病院)
歯科衛生士 武田 美輪 (徳島県歯科医師会南部歯科連携室)
居宅介護支援 倉橋 智子 (居宅介護支援事業所ほっとピース)
小規模多機能 木村 賢徳 (ライフサポートキムラ)
阿南市役所 吉岡 泰香 (保健福祉部)
兼任 恵理 (地域共生推進課)
松崎 由美 (地域共生推進課)
阿南市在宅医療・介護連携支援センター
湯浅 祐司
阿南西部高齢者お世話センター
橋本 篤史

【欠席者】 在宅医師 瀬川 淳 (益崎胃腸科内科医院)
病院関係 前田 徹 (阿南医療センター)
阿南市 石本 祐一 (福祉事務所兼地域共生推進課)
阿南市 是松 結 (地域共生推進課)
阿南市在宅医療・介護連携支援センター 福島 咲由理 (看護師)

①地域共生推進課挨拶

・吉岡泰香部長より挨拶

本年度より阿南市保健福祉部長に就任し、医療と介護のみならず多くの事業に携わることとなった。医療と介護を必要とする高齢者の生活を守るため、このコロナ禍においても切れ目無く提供できるよう意見を頂きたい。また、医療従事者と介護従事者が顔の見える関係づくりで最も連携の図れる会であるので、是非、連携に向けて頑張ってもらいたい。

②阿南医療センター挨拶

・寺嶋 吉保先生より挨拶

一市四町、県南の医療の中心として阿南医療センターも頑張っており、在宅医療・介護連携事業との連携は必要不可欠なので協力していきたい。阿南医療センターの医師も43名から50名超と確保して医療の充実を図り、救急受入れも年々増加して対応を行っている。また、5月1日で開院3年が経過したので、阿南医療センター独自で開催している市民公開講座等も活用して頂き、地域に開かれた連携強化に繋げていきたい。

③自己紹介

・本日参加のワーキンググループメンバーの自己紹介

④在宅医療・介護連携促進ワーキンググループ会議の目的

・切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進を図るため、多職種で意見交換等を行い、連携強化及び専門職としての知識向上を図ることを目的とする。

⑤意見交換会

《ワーキンググループ会議について》

・開催日について

⇒開催日は5月24日、8月30日、11月29日、2月28日の4回開催とし、新型コロナウイルス感染症等による変更もあり。会場は阿南医療センターでの開催として、各種会議等で議論し、フィードバックしていく。

・ワーキンググループ会議メンバーについて

⇒令和3年度もメンバー交代があったように、必要な職種があれば提案してメンバーも考案していく。また、必要に応じて会議に参加して頂くような柔軟な会議も検討していく。

《ケアカフェについて》

目 的：医療・介護従事者が顔の見える関係づくりを行うことで、連携の強化を図る。

開催回数：年4回 予定：6月30日、9月27日、12月27日、3月28日

会 場：阿南医療センター2階講堂

講義内容：ワーキンググループメンバーの意見で決定する。

講 師：阿南医療センター認定看護師等、テーマにより応変に行う。

開催方法：16:00～18:00（講義1時間、講義後1時間予定でグループワークを行う。）

参 加 者：ワーキンググループメンバー及び会議ごとに決定する。

※新型コロナウイルス感染症対策とし、参加人数は上限50名とする。

- ・第1回目は現在重要視されている ACP について行う。講師は阿南医療センター緩和ケア認定看護師が行う。開催日は6月30日に決定。案内先は、看取りを実施している事業種別を対象とし悩みや共通認識及び資質向上を図ることを目的とする。ドリンクは阿南医療センターが提供してくれる。
- ・今年度は参加者が講義内容を各施設で研修して頂き、資質向上を目指す。そのために参加種別の希望施設のみに QR コードを連絡する。また、QR コードに取り扱う。配信は1週間として期限を定めて行き、個人情報等の情報漏洩の徹底を行う。
- ・いつも同じ人が会議や講習会に参加して、阿南市内の事業所でも名前も顔も知らない職員もいるので、もっと参加してもらえような方法はないか？
⇒医療と介護の連携で病院 SW とお世話センター職員の連携はかなり重要でもあるので、お世話センターからの希望もあり、今年度は毎回案内を行う。

《市民公開講座について》

- ・令和5年2月実施予定で新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、ワーキンググループ会議で開催方法を考えていく。

⑥その他

- ・阿南医療センターで図書館が開設された。医療・介護の連携での活用も含め、地域の皆様の誰もが利用できる図書館にしていく。
ネーミングも5月30日まで募集しているので応募して欲しい。

【会議風景】



報告者 センター長 湯浅 祐司